

ダイバーシティ研究センターとは？

ダイバーシティ&インクルージョンの研究拠点として2016年に設立されました。他大学にあるダイバーシティ推進室の多くは、大学の環境を整備するための行政組織ですが、当センターは**研究と教育をおもなミッションとしています。**

ダイバーシティ&インクルージョンとは？

ダイバーシティ Diversity

民族、国籍、性、年齢、障がいや病などの状況、宗教、政治信条、価値観、専門性、職業、ライフスタイル、経験など、属性や背景や考え方の面で多様な人々が、集団に存在している状況

インクルージョン Inclusion

こういった多様な一人ひとりが個性や視点や能力を尊重され、十全とした自分として、集団に対等に参加できている状況

どんな活動をしているの？

1. 学内の環境整備

性的マイノリティの人がありのままで社会で活動するには、「性のあり方は人それぞれ」だと皆が知る必要があります。つまり、「普通の人」の性もじつは様々であり、「LGBTの人」の性も様々だということを、共通認識とする必要があるのです。

2020年4月、広島大学では「性の多様性に関する理念と対応ガイドライン——LGBT等の学生の修学のために」が施行されました。当センターは、アクセシビリティセンター、保健管理センター、ハラスメント相談室と協力し、その原案を作成しました。

詳しくは、センターのサイト「性の多様性に関する基礎知識」参照
<http://www.diversity.hiroshima-u.ac.jp/sogiesc/intro/index.html>



啓発のためのパンフレット
http://www.diversity.hiroshima-u.ac.jp/pdf/leaflet_ja.pdf

「性の多様性に関する理念と対応ガイドライン——LGBT等の学生の修学のために」
https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learnings/post_16.html



2. 学内外の教育と啓発

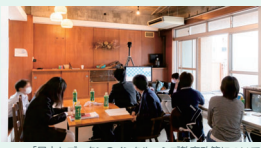
「ダイバーシティ特定プログラム」を開設。
学部や研究科にかかわらず、すべての学生が履修可能。
特定プログラム | 広島大学ダイバーシティ研究センター
<http://www.diversity.hiroshima-u.ac.jp/class.program.html>



学外

研修や講演を実施。

【テーマ】
女性活躍、ダイバーシティ、性の多様性、多文化共生、インクルーシブ教育 など

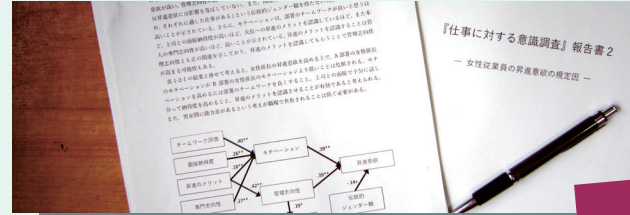


「日本とポータルのインクルーシブ教育政策について」
2020年10月9日実施



3. 企業での調査

企業や自治体等の組織で、ダイバーシティ&インクルージョンの現状について調査しています。調査結果を分析して、改善のための施策をとともに考え、実施し、その効果を検証しています。



いっしょに調査研究を進めてくださる
パートナーを募集しています

これまでの実績：男女の働き方についての比較調査

A 社	調査時期：2018年～2019年	調査方法：聞き取り調査とアンケート調査
	検討課題 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 上位の管理職に女性が少ない。 ✓ 管理職候補(現場リーダー)の資質を客観的に明らかにしたい。 ✓ 女性の育成プログラムを改善したい。 	結果の一例 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 部下は、女性の現場リーダーの管理スキルを高く評価していた。 ✓ 「育児と仕事を頑張る既婚女性」に偏らない女性育成モデルが望ましい。
B 社	調査時期：2018年～2019年	調査方法：聞き取り調査とアンケート調査
	検討課題 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 女性の数が少なく管理職の女性も限定的。女性をどう支援すればいいのか。 	結果の一例 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 女性にリーダーシップを習得できる仕事を割り振ることで、昇進へのハードルが下がるだろう。
C 社	調査時期：2019年～	調査方法：アンケート調査実施済み。聞き取り調査予定。
	検討課題 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 制度は充実しており、女性も昇進している。課題を発見したい。 	結果の一例 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 上司から優秀さを認められている女性部下でも、管理職に向いているとは見なされていない場合があった。 ✓ 周縁的な仕事を任されていると感じている女性が、昇進意欲を維持できずにいる傾向が見られた。

このほかにも、、、
障がいの有無にかかわらず長所を活かすことを目指す企業で、
仕事にたいする意識や包摂感を調査する予定です。

